

# 健康長寿に係る先進的な取組事例

## 小川町

### ～特定健診受診率向上対策事業～

#### (1) 小川町の概要

小川町は、埼玉県の中央部よりやや西に位置し、東は嵐山町、南はときがわ町、西は秩父郡東秩父村、北は大里郡寄居町に接する面積 60.45 平方キロメートルの町である。

首都圏より 60 km 圏に位置し、外秩父山系の山々に囲まれ、町の中央には槻川、兜川が流れる自然豊かな地形から「武蔵の小京都」「手すき和紙の町」として知られている。

昭和 50 年代以降、大型住宅団地が造られ、人口が急増したが、平成 9 年以降は人口が漸減し、近年では少子高齢化、若年層の転出などにより減少が続いている。

人口は、平成 9 年の 38,543 人をピークに減少し始め、平成 24 年では、33,236 人となり、平成 9 年に比べ 5,307 人減少している。

就業人口は、平成 12 年の 18,370 人から平成 22 年では 16,358 人へと約 11% 減少となっている。産業別にみると、第 1 次産業就業人口は、平成 12 年の 654 人から平成 22 年には 437 人へと 33% 減少している。第 2 次産業就業人口は、6,615 人から 4,888 人へと 26.1% の減少、第 3 次産業就業人口は、10,939 人から 10,595 人へと 3.1% の減少となっている。

本町は、交通条件として東武東上線、JR 八高線、国道 254 号、県道などにより周辺都市と結ばれている。東武東上線で池袋から約 75 分の近さにあり、近年本数も増加し、平成 20 年 6 月には 13 号副都心線の乗り入れが開始され、輸送力の充実も図られてきた。

道路については、平成 16 年 3 月に関越自動車道の嵐山小川インターチェンジが設置され、アクセス道路の整備が進み、自動車交通は便利になっている。

#### (2) 取組の契機

##### (ア) 特定健診受診率の伸び悩み

特定健康診査の開始からの受診率が、平成 20 年度 28.8%、21 年度 19.6%、22 年度 25.9%、23 年度 29.4%、24 年度 29.1%（速報値）と目標の 65% を大きく下回り、受診率が伸び悩んでいる。そこで、受診率向上を目的とした本事業を展開した。

##### (イ) 取組の内容

事業名	特定健診受診率向上対策事業
事業開始	平成 22 年度

	平成 25 年度
予 算	約 50 万円 ・ 受診勧奨はがき 12.6 千円 ・ 通信運搬費 28.5 千円

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消耗品費</li> <li>・ 電話代等</li> </ul>
対象人数	6, 000人
期 間	平成 25 年 7 月～平成 25 年 1 1 月
実施体制	健康増進課、町民生活課、商工会

- ① 5年連続未受診者への個別訪問（平成25年7月～9月）  
1地区に限定し、100人の個別訪問を行い、受診勧奨を行った。不在者に対しては、不在票の投函または、受診勧奨はがきの郵送で対応する。
- ② 電話による受診勧奨（平成25年8月～9月）  
特定健診を平成23年度は受診し、24年度は未受診だった者、計376人に対し、受診勧奨を行った。本人または家族が不在の場合は受診勧奨はがきの郵送で対応する。
- ③ 特定健診を昨年12月受診者への電話（平成25年10月中旬～下旬）  
今年度は昨年度より受診期間が1か月短縮されたため、昨年の12月受診者351人に対し、早めの受診を促す。
- ④ 今年度未受診者へのはがきによる受診勧奨（平成25年9月下旬～10月上旬）
- ⑤ その他イベントでのPR

はつらつ朝市（6月15日、9月21日）	夜の納涼市（7月20日）
<b>内容・実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受診勧奨チラシ等配布 300枚</li> <li>・ 血圧測定 82名</li> <li>・ 血流の状態測定(BC チェッカー) 52名</li> </ul>	<b>内容・実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受診勧奨チラシ等配布 200枚</li> <li>・ 後期高齢者医療健診チラシ配布 200枚</li> <li>・ リーフレット配布2種 各125枚</li> <li>・ 特定健診ティッシュ配布 200個</li> <li>・ 血圧測定 125名</li> <li>・ 血管年齢測定 134名</li> </ul>

- ・ 福祉まつり（10月27日）
- ・ 商工祭（11月3日）
- ・ 健康長寿サポーター養成講座（11月16日）

<はつらつ朝市、夜の納涼市の様子>



- ⑤ポスター掲示（平成25年7月～11月）  
町内の各商店街、公共施設等に掲示を行った。

(ウ) 取組の効果

①5年連続未受診者への個別訪問

受診意志	
検討	34人
家族が対応したため不明	16人
有	8人
無	13人
不在のため案内をポスティング	29人
合計	100人

②電話による受診勧奨

受診意志	
検討	96人
家族が対応したため不明	21人
有	114人
無	65人
不在等	80人
合計	376人

③特定健診を昨年12月受診者への電話

受診意志	
有（受診済を含む）	228人
無	12人
不在等	111人
合計	351人

訪問や電話での受診勧奨を行った結果、未受診者の理由や健康行動の把握ができた。本来の目的である受診率向上については、今年度の受診率が上昇していることを期待している。

(エ) 創意工夫した点

前年度までは個別訪問および電話による勧奨だけであったが、今年度は受診勧奨はがきを送付し、受診率の向上を図る。

(オ) 課題、今後の取組

- ① 受診対象者の年齢が若いと日中、本人と会いづらい。  
今年度より受診勧奨はがきを郵送するため、受診期間終了後に把握したい。
  
- ② 高齢の対象者の場合は、疾病による定期受診をしている人が多い。  
今後は病院との連携が必要である。